

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2022年10月31日 [当初、2030年3月15日] まで (2020年3月2日設定)	
運用方針	ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザー ファンド受益証券への投資を通じて、主とし てスペインの国債に投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を 維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として 為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をは かります。	
主要運用対象	ベビー ファンド	ヘッジ付スペイン国債7-10年ラ ダーマザーファンド受益証券を 主要投資対象とします。
	マザー ファンド	スペインの国債を主要投資対象 とします。
主な組入制限	ベビー ファンド	外貨建資産への実質投資割合に 制限を設けません。
	マザー ファンド	外貨建資産への投資割合に制限 を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費等控除後の配当等収益お よび売買益（評価益を含みます。）等の全額と し、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を 勘案して委託会社が決定します。ただし、分 配対象収益が少額の場合には分配を行わない ことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の 成長を優先し、原則として分配を抑制する 方針とします。（基準価額水準や市況動向 等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[繰上償還]

スペイン国債7-10年ラダーファンド (為替ヘッジあり) (ラップ向け)

信託終了日：2022年10月31日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「スペイン国債7-10年ラダーファンド（為替
ヘッジあり）（ラップ向け）」は、約款の規定に基づき、
先般ご案内申し上げました予定通り、10月31日に繰り
上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用
経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い
申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00~17:00、
土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
	円 銭		円	%	%	%	百万円
2期(2021年3月17日)	10,209		0	0.2	97.7	—	1,805
3期(2021年9月17日)	10,278		0	0.7	96.5	—	470
4期(2022年3月17日)	9,612		0	△ 6.5	96.6	—	3
5期(2022年9月20日)	8,565		0	△ 10.9	99.4	—	0.850867
(償還時)	(償還価額)						
6期(2022年10月31日)	8,196.92		—	△ 4.3	—	—	0.814318

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円 銭		%	%	%
2022年9月20日	8,565		—	99.4	—
9月末	8,251		△3.7	98.1	—
(償還時)	(償還価額)				
2022年10月31日	8,196.92		△4.3	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

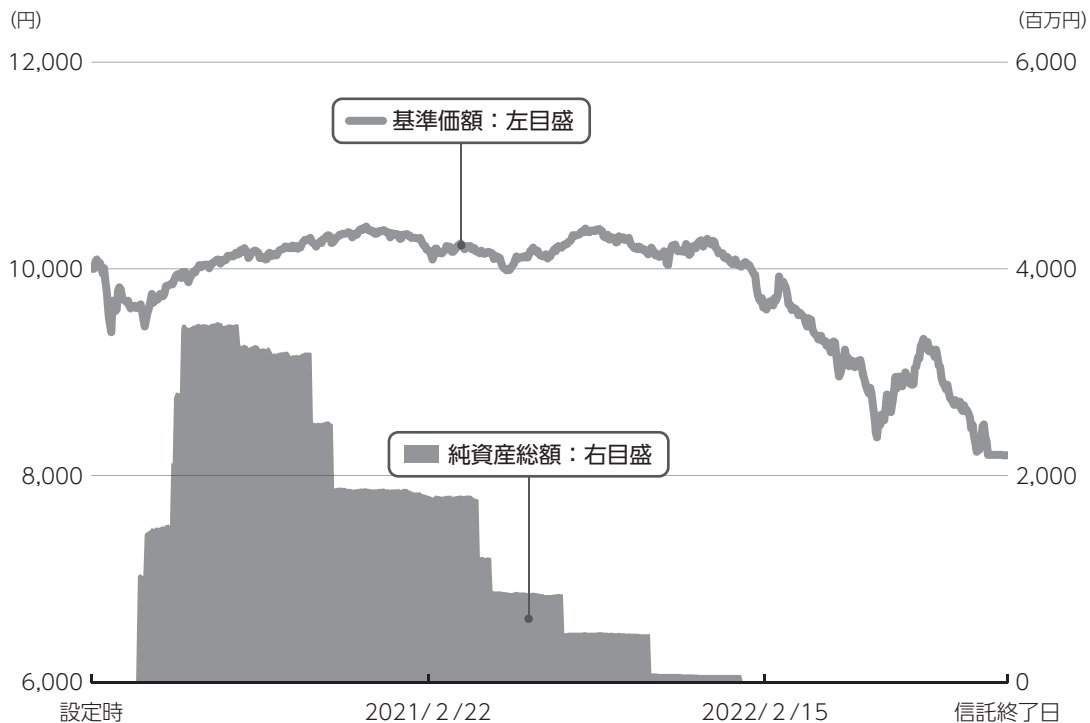
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期～第6期：2020年3月2日～2022年10月31日

設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第6期末	8,196.92円
既払分配金	0円
騰落率	-18.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ18.0%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

スペイン長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第1期～第6期：2020年3月2日～2022年10月31日

投資環境について

▶ 欧州債券市況

スペイン長期金利は上昇しました。

設定時から2021年末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いリスクセンチメントが悪化し、世界的に金利が大きく変動する局面もありましたが、欧州中央銀行（ECB）による積極的な流動性供給や追加金融緩和などにより、ス

ペイン長期金利は概ね低水準で推移しました。その後、信託期間終了日にかけては、ユーロ圏を含む主要先進国の景気回復やインフレ上昇を背景としたECBの金融緩和解除への思惑などから、スペイン長期金利は上昇しました。信託期間を通じると、スペイン長期金利は上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ スペイン国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）

信託期間を通じて、ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券を通じてスペイン国債に投資しました。

第6期（2022年9月21日～信託終了日）は、信託終了日にかけてマザーファンドの組入れを解消し、資金化をはかりました。

▶ ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド

残存期間が7年程度から10年程度までのスペイン国債を主要投資対象とし、これらの債券の各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用を行いました。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

▶ 償還価額

▶ スペイン国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）

償還価額は、8,196円92銭となりました。

信託期間中はお愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2022年9月21日～2022年10月31日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	4	0.047	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(3)	(0.037)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.006)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.004)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
合 計	4	0.047	

期中の平均基準価額は、8,272円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

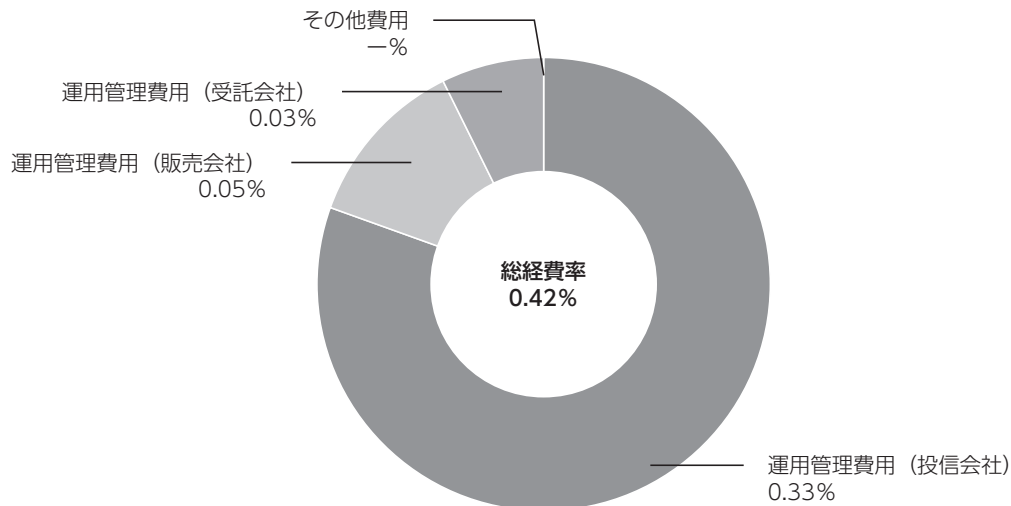
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.42%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年9月21日～2022年10月31日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド	千口 0.063	千円 0.055	千口 927	千円 812

○利害関係人との取引状況等

（2022年9月21日～2022年10月31日）

利害関係人との取引状況

<スペイン国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）>
該当事項はございません。

<ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2022年9月21日～2022年10月31日）

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高(元本)	取引の理由
百万円 0.993444	百万円 —	百万円 —	百万円 0.993444	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

（2022年10月31日現在）

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド			千口 927

○投資信託財産の構成

（2022年10月31日現在）

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
	コール・ローン等、その他	814	100.0
	投資信託財産総額	814	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2022年10月31日現在）

○損益の状況（2022年9月21日～2022年10月31日）

項	目	償 還 時
		円
(A)	資産	814,692
	コール・ローン等	814,692
(B)	負債	374
	未払信託報酬	373
	未払利息	1
(C)	純資産総額(A－B)	814,318
	元本	993,444
	償還差損金	△ 179,126
(D)	受益権総口数	993,444口
	1万口当たり償還価額(C/D)	8,196円92銭

項	目	当 期
		円
(A)	配当等収益	△ 19
	支払利息	△ 19
(B)	有価証券売買損益	△ 36,157
	売買損	△ 36,157
(C)	信託報酬等	△ 373
(D)	当期損益金(A+B+C)	△ 36,549
(E)	前期繰越損益金	△122,903
(F)	追加信託差損益金	△ 19,674
	(配当等相当額)	(5,470)
	(売買損益相当額)	(△ 25,144)
	償還差損金(D+E+F)	△179,126

<注記事項>

- ①期首元本額 993,444円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 0円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.819692円です。

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は179,126円です。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2020年3月2日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年10月31日		資産総額	814,692円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	374円
				純資産総額	814,318円
受益権口数	1,000,000口	993,444口	△6,556口	受益権口数	993,444口
元本額	1,000,000円	993,444円	△6,556円	1万円当たり償還金	8,196円92銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	3,130,423,013円	3,190,090,140円	10,191円	0円	0%
第2期	1,768,211,107	1,805,085,038	10,209	0	0
第3期	458,182,361	470,910,678	10,278	0	0
第4期	3,652,308	3,510,428	9,612	0	0
第5期	993,444	850,867	8,565	0	0

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	8,196円92銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

全残存口数に対して受益者からの解約請求があり、約款第47条第1項に規定する「やむを得ない事情が発生」した場合に該当するため、また、約款第47条第5項に規定する「真にやむを得ない事情が生じている場合」に該当するため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。

(2022年10月31日)

ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド

《第7期》決算日2022年9月20日

[計算期間：2022年3月18日～2022年9月20日]

「ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド」は、9月20日に第7期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主としてスペインの国債に投資を行います。 原則として、残存期間が7年程度から10年程度までのスペイン国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用をめざします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。
主 要 運 用 対 象	スペインの国債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
3期(2020年9月17日)	10,804		5.8	93.5	—	14,959
4期(2021年3月17日)	10,846		0.4	98.0	—	13,833
5期(2021年9月17日)	10,943		0.9	96.8	—	11,704
6期(2022年3月17日)	10,255		△ 6.3	96.9	—	10,611
7期(2022年9月20日)	9,155		△10.7	99.7	—	9,781

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	債券率	
			騰落率	率				
	(期首)		円				%	%
	2022年	3月17日	10,255	—			96.9	—
	3月末		10,076	△ 1.7			98.7	—
	4月末		9,912	△ 3.3			96.3	—
	5月末		9,671	△ 5.7			97.5	—
	6月末		9,323	△ 9.1			97.9	—
	7月末		9,884	△ 3.6			94.4	—
	8月末		9,333	△ 9.0			96.7	—
	(期末)							
	2022年	9月20日	9,155	△10.7			99.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

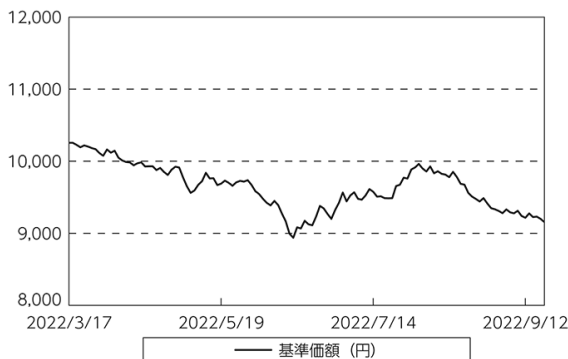
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.7%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

スペイン長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎欧州債券市況

- ・スペイン長期金利は上昇しました。
- ・エネルギー価格の高止まりなどを背景に、ユーロ圏内でインフレ加速が見られ、欧州中央銀行（ECB）が利上げを実施したことなどが、スペイン長期金利上昇の要因となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・残存期間が7年程度から10年程度までのスペイン国債を主要投資対象とし、これらの債券の各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用を行いました。
- ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

○今後の運用方針

- ・スペインの国債を主要投資対象とし、原則として、残存期間が7年程度から10年程度までのスペイン国債に投資し、各残存期間ごとの投資金

額が同程度になるような運用を目指します。また、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年3月18日～2022年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	1	0.010	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(1)	(0.010)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
合 計	1	0.010	
期中の平均基準価額は、9,633円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月18日～2022年9月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	スペイン	国債証券	26,401	28,137

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月18日～2022年9月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	$\frac{B}{A}$		百万円	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	22,983	11,028	48.0	21,566	11,022	51.1
為替直物取引	151	13	8.6	499	68	13.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年9月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
スペイン	82,010	67,811	9,749,263	99.7	—	99.7	—	—
合 計	82,010	67,811	9,749,263	99.7	—	99.7	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
スペイン	国債証券	0.1 SPAIN GOVT 310430	0.1	28,240	22,657	3,257,422	2031/4/30
		0.5 SPAIN GOVT 300430	0.5	26,380	22,633	3,254,065	2030/4/30
		0.7 SPAIN GOVT 320430	0.7	27,390	22,520	3,237,775	2032/4/30
合 計						9,749,263	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	9,749,263	96.1
コール・ローン等、その他	396,486	3.9
投資信託財産総額	10,145,749	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(9,818,785千円)の投資信託財産総額(10,145,749千円)に対する比率は96.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ユーロ=143.77円		
---------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	19,611,965,691
コール・ローン等	371,307,826
公社債(評価額)	9,749,263,741
未収入金	9,471,575,240
未収利息	19,507,930
前払費用	310,954
(B) 負債	9,830,424,666
未払金	9,807,058,676
未払解約金	23,365,420
未払利息	570
(C) 純資産総額(A-B)	9,781,541,025
元本	10,684,686,023
次期繰越損益金	△ 903,144,998
(D) 受益権総口数	10,684,686,023口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,155円

<注記事項>

- ①期首元本額 10,347,502,383円
 期中追加設定元本額 389,247,830円
 期中一部解約元本額 52,064,190円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9155円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUKAM スペイン国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり) 2019-04(適格機関投資家限定)	3,934,773,167円
MUKAM スペイン国債7-10年ラダーオープン(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	2,759,381,306円
MUKAM スペイン国債7-10年ラダーオープン(為替ヘッジあり)(適格機関投資家転売制限付)	1,842,446,556円
国内債券セレクション(ラップ向け)	1,082,922,221円
MUKAM スペイン国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり) 2019-07(適格機関投資家限定)	747,770,888円
MUKAM スペイン国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり) 2019-06(適格機関投資家限定)	284,582,990円
アドバンスト・バランスⅡ(FOF s用)(適格機関投資家限定)	19,778,038円
アドバンスト・バランスⅠ(FOF s用)(適格機関投資家限定)	12,103,747円
スペイン国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)(ラップ向け)	927,110円
合計	10,684,686,023円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は903,144,998円です。

○損益の状況 (2022年3月18日~2022年9月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	28,131,657
受取利息	28,389,680
支払利息	△ 258,023
(B) 有価証券売買損益	△1,179,962,707
売買益	1,052,832,565
売買損	△2,232,795,272
(C) 保管費用等	△ 1,045,470
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,152,876,520
(E) 前期繰越損益金	263,867,743
(F) 追加信託差損益金	△ 17,269,486
(G) 解約差損益金	3,133,265
(H) 計(D+E+F+G)	△ 903,144,998
次期繰越損益金(H)	△ 903,144,998

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。